いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび
No.２３８
令和８年（2026）９月２４日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

秋祭りシーズンです。昨日、今日は隣町の宵宮・本祭り。そして週末はいよいよ今金八幡宮の祭典です。天気は大丈夫なんじゃないかな。私が行列にはいないですから(#^.^#)…。

出来秋。特産の今金男しゃくがトラックに載せられて農協倉庫へ運ばれるのをよく見かけるようになりました。田は稲穂が黄金色に輝いています。国営事業で大規模になった今金町の水田。時折降るスコールのような雨で大型機械が稲刈りに入られない期間があってという話も耳にすることもありますが、どうぞ今年も豊年満作でありますように。　９月１５日記



教育委員リレーエッセイ
『秋祭りを終えて　冬へ』

今金町教育委員　　水戸部　明子

秋祭りが終わると、賑やかだった季節もひと段落し、朝夕の空気に少しずつ冬の気配を感じるようになりました。

今年の秋祭りはシルバーウイークと重なり、地域のあちこちから多くの人が集まりました。子どもたちの笑い声や元気な声が響く中、準備をする人、見守る人、楽しむ人、それぞれの立場でお祭りを支える姿から、地域のつながりを改めて感じました。

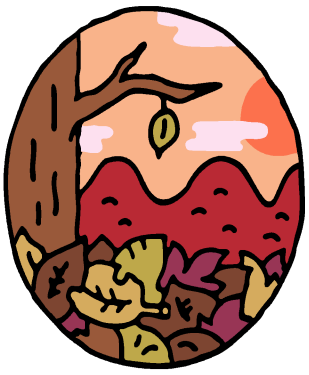
こうした地域の行事は、単に季節の催しを楽しむだけではなく、子どもたちにとっても大切な「ふるさとの記憶」になっていくのだと思います。

大人にとって何気ない一日でも、子どもたちにとっては、地域の人に声をかけてもらったこと、一緒に笑ったこと、友達と過ごしたことが、いつまでも心に残る思い出になることでしょう。

秋祭りを終え、これから季節は冬へと向かいます。寒さが増し、外で過ごす時間が少なくなっていきますが、そんな季節だからこそ、地域の人とのふれあいを大切にしたいものです。

秋祭りの賑わいが過ぎ去ったあとも、地域のつながりは消えることなく、冬の日々へと受け継がれていきます。

季節が変わっても、人と人との温かさは変わらない。そんな地域であり続けることを願いながら、冬の訪れを迎えたいと思います。



いつも土日中心に開いていただいている「読み聞かせボランティア」の方々のお話会や紙芝居等々。他の用務と重なり、なぜか「マザーズぽけっと」の皆さんのお話会だけ顔を出せずにいて気になっていました。この木曜日、今金町総合福祉施設「としべつ」で利用者の方々と拝見することができました。職員の方もマザーズさんも温かくてすごく居心地がよくて。ほんわかとした空気の中でのパネルシアター、紙芝居。川上代表をはじめ、いつまでも変わらない皆さんの雰囲気に穏やかな気持ちで事務所に戻りました。としべつの職員の方が利用者さんに教える手の運動が私は危なっかしく、恥ずかしかった(*'▽')ですけど･･･ガーン。お世話になりました。ありがとうございました。